

研究機関名：旭川医科大学

承認番号	16197
課題名	第12次 ATL 全国実態調査研究
研究期間	西暦 2017年2月23日 ~ 2017年9月30日
研究の対象	西暦 2012年1月1日 ~ 2013年12月31日に当院血液・腫瘍内科で成人 T 細胞性白血病・リンパ腫 (ATL) と新たに診断された方
利用する試料・情報の種類	<p>■診療情報 (詳細: 性別、生年月日、発症年齢、既往歴や家族歴などの背景因子、および検査結果などの臨床情報等)</p> <p><input type="checkbox"/>手術、検査等で採取した組織 (対象臓器等名: )</p> <p><input type="checkbox"/>血液</p> <p><input type="checkbox"/>その他 ( )</p>
外部への試料・情報提供	<p><input type="checkbox"/>自施設のみで利用</p> <p>■多施設共同研究グループ内 (提供先: 国立がん研究センター東病院 血液腫瘍科) (提供方法: データセンターへのデータの提供は、患者様個人が特定できないように特定 ID を用い、ATL 実態調査票という用紙に記入し郵送します。この調査票は提出先で保管・管理します。)</p> <p><input type="checkbox"/>その他 (提供先: ) (提供方法: )</p>
研究組織	<p>研究グループ</p> <p>この研究は厚生労働科学研究費補助金 (がん対策推進総合研究事業 (がん政策研究事業) H26-がん政策-一般-006「HTLV-1 キャリアと ATL 患者の実態把握、リスク評価、相談支援体制整備と ATL/HTLV-1 感染症克服研究事業の適正な運用に資する研究」班の研究プロジェクトとして行われるもので、上記班メンバー、および本研究の趣旨に賛同した国内研究者との共同研究である。</p> <p>研究代表者: 国立がん研究センター東病院・血液腫瘍科 塚崎邦弘</p> <p>研究事務局: 岩手医科大学医学部腫瘍内科学 伊藤薫樹 長崎大学大学院医歯薬学総合研究科フロンティア生命科学分野 岩永正子</p>
研究の意義、目的	<p>成人 T 細胞白血病・リンパ腫 (ATL) は 1977 年に発見され、その後、レトロウイルスのヒト T リンパ球向性ウイルス I 型 (HTLV-1) が ATL の病因ウイルスとして発見されました。HTLV-1 キャリアは日本のほかカリブ海沿岸・アフリカ・中南米に多く、日本国内では九州・沖縄などの西南沿岸部に多いことが判明しております。ATL は成人に多発する難治性の成熟 T 細胞腫瘍であり、HTLV-1 キャリアの数%が発症し、日本での年間 ATL 発症は約 1000 名と推定されており、希少な悪性腫瘍の 1 つであります。これまで ATL の全国実態調査が行われ、発</p>

	<p>症年齢や病型、治療方法、予後などが判明、また現在検討中であります。</p> <p>本研究（第12次ATL全国実態調査）では2012年1月～2013年12月に新たにATLと診断された症例について、ATL診療の実態を調査し、本邦におけるATLの病像の実態、地域特性を明らかにすること、過去の全国実態調査結果との比較検討を行い、近年のATLの特性を明らかにすることで、ATLの診療体制の整備に寄与する事を目的としております。</p>
研究の方法	<p>対象患者様は、参加施設において2012年1月1日～2013年12月31日の2年間に新たに診断されたATL症例としております。該当患者様があり、調査に協力できるとの回答があった施設で、第12次ATL実態調査票を記入し、研究事務局において調査データを解析後、結果を公表して参ります。</p>
その他	
お問い合わせ先	<p>本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。</p> <p>また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。</p> <p>照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：      所属：旭川医科大学 内科学講座 消化器・血液腫瘍制御内科学分野      氏名：生田 克哉（研究責任者）      氏名：土岐 康通（分担研究者）      〒078-8510 北海道旭川市緑ヶ丘東2条1丁目1-1      電話番号 0166-68-2462      FAX 0166-68-2469</p> <p>研究代表者：      国立がん研究センター東病院・血液腫瘍科 塚崎邦弘</p>